



### 概要

GPG-3500 は、Linux アプリケーションおよび RTLinux リアルタイムモジュールから、弊社 CompactPCI/PCI アナログ入出力ボードのアナログ入力部を制御するためのドライバソフトウェア GPG-3100 と、アナログ出力部を制御するためのドライバソフトウェア GPG-3300 から構成されています。  
 弊社アナログ入出力ボードを Linux アプリケーションからライブラリ関数をコールして制御します。  
 また、リアルタイムタスクモジュールから関数をコールして制御します。

### 特長

- GPG-3100 は Interface 社のアナログ入力ボードを全てサポートします。
- 複数枚同期サンプリングをサポートしているため、複数のボード間で同時にサンプリングができます。  
(複数枚同期サンプリングをサポートしていないボードがあります。)
- キャリブレーションソフトウェアを含んでいます。
- 最大 1,073,741,824 件の AD 変換データを入力することができます。
- ディスクへのデータ保存ができます。
- データ変換関数(AdDataConv 関数、AdReadFile 関数)を使用してサンプリングデータの各種変換を行うことができ、バイナリデータ、物理データの変換をサポートしています。
- 平均化処理を使用することでノイズ除去を行うことができます。
- トリガ機能により、トリガ発生と同時にアナログ入力の開始または終了を行うことができます。
- トリガディレイ機能により、事象発生の前後や事象発生から指定時間経過後のデータを取得する事ができます。
- ソフトウェアによるレンジ設定、オフセット・ゲイン調整が行えます(一部型式未対応)。サンプリング終了時、フルスケール検出時、指定電圧検出時においてイベントを発生させます。
- サンプルプログラムを用意しています。

#### [アナログ出力]

- 階層化ドライバと各種統一、共通化により Lib レベルでボード型式を意識する必要がありません。  
(ボード固有機能は除く)。
- 最大 1,073,741,824 個のデータをアナログ出力することができます。この数は仕様上の最大値です。  
実際の最大値はご使用の環境によって異なります。
- データ変換関数を使用してアナログ出力データの各種変換を行うことができます。
- トリガ機能を備えているため、トリガ発生と同時にアナログ出力を開始または終了することができます。
- トリガディレイ機能を持っているため、トリガ発生後、指定時間経過後にアナログ出力を開始、または終了する事ができます。
- ソフトウェアによる、レンジ設定ができます。
- サンプルプログラムを含んでいます。

### 対応 OS

Interface Linux System 8 64bit  
 Interface Linux System 7 64bit

Interface Linux System 7 32bit  
Interface Linux System 6 64bit  
Interface Linux System 6 32bit  
Interface Linux System 32bit

#### 対応言語

gcc

#### 注意事項

—